

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 阿部 信行 編集責任者 足立 聡 印刷所 東京印刷(株)

第47回

中小企業団体全国大会が開催される

10月12日(木)第47回中小企業団体全国大会が全国から5,000人の参加者を集めて岐阜で開催された。

会場になった岐阜メモリアルセンターは市内中心部にスポーツ関連施設と合わせて建設されたドーム型が2つ、で愛ドーム(記念式典)ふれ愛ドーム(県産品即売)で行われた。

鳥取県中小企業青年中央会からも東部9名、中部15名、西部は阿部会長をはじめとして(阿部、藤居、角田、森尾、松本(啓)、足立(聡)、小原、松岡(晃)、景川、土井、市位)の11名、計35名が参加した。

47回のメインテーマ「愛そだて創意で結ぶ新世紀」と題し戦後最大の長期にわたる不況、阪神・淡路大震災の発生と再び停滞感を強め中小企業の景況の悪化は深刻であり、下請中小企業をはじめとする国内製造業の空洞化、中小卸売業、小売業の事業所数の激減をもたらし、中小企業存在基盤を脅かしている中、17の決議が上程され一括して決議、宣言された。特に今回は万国博覧会の誘致に関する特別決

議案が出されました。21世紀に向け国際社会における、わが国の果たすべき役割がいよいよ大きくなっている中で、2005年に万国博覧会をわが国に誘致し、世界規模の諸問題について世界各国が共に知恵を絞り、論じあう事により、21世紀の人類の進むべき方向を示すことが、極めて大きな意義であると決議が採択され大会は無事終了した。



第4回 O B 交流会 初の米子開催!



例年、境港で行われていましたOB交流会が、今年は10月7日(土)、東亜

青果にて焼き肉・シーフード、バーベキューの形で行われました。現役31名、OB24名、総勢55名で、桑垣会員の司会のもと、現役・OBを代表して阿部会長、手島会長より挨拶をいただき、岸野OBの乾杯の音頭で幕が開きました。カニ・サザエ・エビ・肉・野菜などなど、想像を絶するほどたくさんの具・具・具。しかし皆の胃



袋は、さすがに食欲の秋、スタッフの総務委員会メンバーは、焼くのに大わらわ。アトラクションには、高島屋女子連の米子がいな太鼓の披露があり、入場と同時に、我先にと現役OBかえりみず、前の席にかぶりつき状態。特にハッピーを取るシーンでは、さらにアンコールの連呼、連呼。フレッシュかつ堂々と演奏された、高島屋女子連に、もう一度エールを送りたい。歓談のあと、藤居直前より、締め挨拶をいただき、爽やかな秋の夜が終わりました。お世話になりました関係各位、総務委員会に感謝いたします。



中央会 初の 新入会員オリエンテーション開催

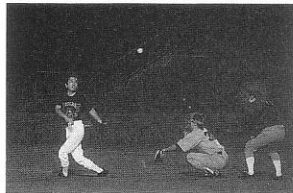
10月20日(金)、米子国際ホテルにて初の試みとして新入会員の為のオリエンテーションが行われた。まず初めに阿部会長より心こもった歓迎の挨拶があり、松本、森尾副会長、並びに小原幹事より、西部青年中央会の今年度の方針、中央会組織の概要、会則、規約と中央会活動と新入会員の心構えについて説明がなされた。約2時間に渡る講義の中、緊張で固くなりがちな新入会員を解きほぐすよう、冗談を交えながらの熱心なレクチャーが続けられた。

その後、質疑応答がなされ、締めくくりとして、角田前県会長より「今後の活動に期待し、多くの仲間を作って貰いたい。」旨の、挨拶を頂いて、席を移して「歓迎懇話会」が行われ、アルコールも入り、リラックスして談笑。藤居直前会長も合流され、一段と話題が盛り上がったところで散会。新入会員一同、前会長の言葉に答えるべく、引続き、自主的に勉強会(?)を行い、今後の活躍を誓い合った。

米子、境港会員対抗野球大会

米子チームの圧勝、境港チーム一蹴する

10月15日(日)境港市竜ヶ山球場において、米子市在住会員と境港市在住会員の対抗野球が行われた。当日は天候に恵まれさわやかな秋風がそよぐ絶好のコンディションのもと午後8時にプレイボールとなった。



先攻は米子チーム、対する境港チームは先日の中企業野球大会で好投した浜徳正を先発させたが初回からいきなり連打と拙守により3点を奪い2回にも2点を追加し浜を攻略。2番手投手夏山も米子チームの勢いは止められず米子チームは1回から4回まで毎回得点で大量10点を挙げた。境港チームは主戦投手岩田が5回を無得点に押さえたが時すでに遅かった。米子チームは守っても高田、徳中とつなぎ、3回の2点だけで境港チームを押さえて完勝した。

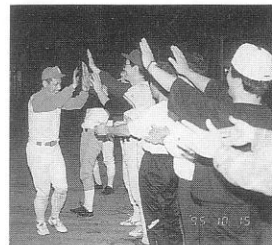
チーム名	1	2	3	4	5	計
米子	3	2	2	3	0	10
境港	0	0	2	0	0	2



5回時間切れコールドゲーム

(米子) 高田、徳中-徳中、高田 (境港) 浜(徳)、夏山、岩田-浜田 本塁打 徳中、湯原(米子) 三塁打 武海(米子) 安打 高田3、門脇2、徳中、市位(米子) 景川2、浜田、北野(境港)

◆西部青年中央会野球部創部! 部員募集◆



この度、会員の親睦を図る為と日頃の運動不足解消をかねて野球部を創部することとなりました。スポーツの好きな人、運動不足を解消したい人、入部をお待ちしております。

連絡先

総務委員会 市位清明

鳥取県青年中央会 20周年記念コンペ開催さる!



10月21日(土)、三朝カントリー倶楽部に於いて、会員、OB諸氏、総勢86名の参加で、県青中20周年記念コンペが盛大に開催された。

当日は、会員諸氏の日々の精進の賜物か、さわやかな秋晴れの絶好のゴルフ日和りとなった。

油谷県会長の開会のあいさつでプレー開始。東中西のメンバーが混成された組合せのもと、日頃鍛えた腕と口を競い合いながらプレーを楽しみ、親睦を深めた。

プレー終了後、場所を国民宿舎・プランナーみささに移し、表彰式を兼ねた懇親会を行い、好プレー、珍プレーに話が弾んだ。

表彰式では難しいグリーンに手こずる並る強豪を尻目に、アウト43、イン39の82(ネット70)で回った、わが西部の宮崎勝行会員が見事、栄冠を手中に収めた。

また、団体戦でも西部勢が圧倒的な強さを見せつけ、堂々の優勝を飾った。

最後に、お忙しい中、参加していただきました手島OB会長を始め、OBの皆様、そして会員の皆さん、本当にご苦労様でした。

〈個人成績(西部のみ)〉

順位	氏名	スコア(グロス)	8位	倉敷 裕史	91
優勝	宮崎 勝行	82	10位	金田 寿成	90
2位	渡辺 禎士(OB)	87	85位(B.B.)	村上宏行	139
4位	羽原 俊二	93			
6位	松本 啓	93			
7位	播磨 正勝(OB)	91			

〈団体成績〉
優勝:西部 2位:中部 3位:東部

「まつたけの会」

10月5日(木)、社会文化委員会は「松茸」を囲んで親睦を深めようと松茸食べ放題なる大変贅沢な集いを開催した。参加者は他の委員会からも加わり総勢23名。会場となった大和会館の一室には、りりしい松茸がその量何と6kg。

然も美しいお嬢様付きでセッティングされていた。しかしこの時ばかりはお色気は無視して純粹に食材を通じてのみ、皆大満足してお互いの友愛を深めることができた様子であった。尚、この集いにあつたのは柏梨田昇OB会員(米子青果専務)の多大なご協力があつて実現できたとのこと。先輩のご好意に心から感謝いたします。



10月度委員会報告

政治・行政委員会

平成7年10月5日(木) 於：米子食品会館
 出席者/10名
 内容/ 始めに、委員会別出席状況の資料を配布。出席率の向上(特に例会)を図るにはどうすれば良いのか意見の交換。例会こそ中央会活動のメインであると再認識し、11月担当例会では、魅力ある例会を開き、一人でも多くの出席者を集めようと会員一同決意を新たにす。

その後、11月担当例会の打合せ。三県議の方々のスケジュール調整、会場の手配等を行い、当日質問事項の再検討をして、今一度意見を出し合い論議した。

最後に総務委員会との対抗ゴルフコンペ(10月23日開催)の案内、参加者は当委員会の必勝を期して、氣勢を上げる。

社会・文化委員会

平成7年10月4日(水) 於：米子食品会館
 出席者/10名
 講師/安田寿朗弁護士
 演題/「子供の人権」
 いじめは人間形成の一過程であり、なくなることはないが、最近のいじめは変化し、回復不可能な精神的ダメージを与える様なものがある。

また、いじめは、恒常化しており、だれでも、いじめ対象になる可能性がある。

子供の人権を護ることによって、問題の解決になる。
 親は子供の話をよく聞いてやり、いじめがあれば早急に発見し(いじめ発見のポイント等を聞いた。)対処すべきである。
 等々子供を持つ親にとって、非常に有意義かつ恐ろしい話を聞いた。出来れば会員全員に聞いていただきたい。

地域ビジョン委員会

平成7年10月11日(水) 於：米子食品会館
 出席者/12名
 講師/秦野一憲OB
 演題/中海圏拠点都市構想と合併問題
 中海圏拠点都市構想と言う、国単位で地域を捉えた発想が、現実のものになろうという現在の状況の中で、我々鳥取県西部地区が本当に一つになる事が重要になりつつある。米子の経済人としてはこの問題について出来る限り多く米子市以外の鳥取県西部地区の人々のメリットを考えるべきだ。

経済委員会

平成7年10月9日(月) 於：米子食品会館
 出席者/11名
 講師/西村敬OB(西米商事常務取締役)
 演題/不動産デベロッパーから見た米子地区、鳥取県
 今回は西部青年中央会OB西村氏をお迎えし“不動産デベロッパーから見た米子地区、鳥取県”という題で講演していただきました。
 会社説明、現役時代からのトリアスロンとのかかわりについて、最近の不動産の動向についてお話を伺いました。
 土地の評価、税金の問題等について活発な質問がされました。
 米子地区でも西米商事は良心的な会社であるのでぜひみな様にも利用していただきたいとのことでした。

経営投資委員会

平成7年10月12日(木) 於：出雲路
 出席者/11名
 講師/門脇卓爾先生
 演題/ドイツ文化雑考
 ドイツの話しを続けよう。9月例会は当委員会の担当例会であった訳で、この反省から今月委員会は始まった。もっと金融の詳しい

話しの方がよかったとか、文化や生活の話して、割りと分かりやすかったなど、それぞれに反省の弁を発表した。まずは好評だったものと総括できるだろう。

しかし、少し心残りである。もう少しドイツの話しをしようではないか。そこで、ドイツに詳しい門脇卓爾先生とドイツ談義を続けた訳である。

門脇先生はなんてったって、カント研究論文でボン大学の学位を取得されている偉い先生である。話しか聞けるのは有り難いことだし、まして、いろいろの談義ができるのは有益なことである。

ドイツの教育制度、就職状況、東ドイツと西ドイツの文化など、先生のドイツでの生活体験を盛り込んだお話で談義が盛り上がったところである。

そんな訳で、外国への興味に火が付いて、次回の委員会では中国の投資あるいは商売について、談義をすることと相成った。

MORE ACTIVE! MORE INTERESTED!

情報メディア委員会

平成7年10月27日(金) 於：株式会社ケイズ 2階会議室
 出席者/17名
 講師/株式会社ワイズシステム 販売部製造営業課 兼品栄一郎氏
 キヤノン販売株式会社 松江システム機器販売課 羽島泰建氏
 演題/「映像(VTR)のコンピュータ処理」

上記のテーマを少しでも分かり易く実体験するため、会の始まるまでの様子を家庭用ビデオで撮影し、そのビデオをコンピュータに取り込みコンピュータのディスク上で映像の編成を行ってみた。

現在、家庭や職場で撮影された多くのテープは、編集作業の複雑さからそのままにされることが多いが、10万円前後の映像処理ソフトでかなりの効果がかけられ、その作業内容も非常に分かり易いようになっていた。

編集作業は羽島先生により、マッキントッシュの特徴、シリコングラフィックの説明、リニア編集とノンリニア編集の説明、ハイビジョンとコンピュータの状況等のマルチメディア化の進むコンピュータと、その可能性を伺った。近い将来には映像のデジタル化ディスタク化が進み、最終的にはコンピュータがそれらを取り込んでいくのではないのかとのことであった。同時に進行した編集作業は処理スピードにまだ多少の時間が必要ではあったが、編集された映像は今後のコンピュータの映像処理に大きな期待をもてるものであった。

広報委員会

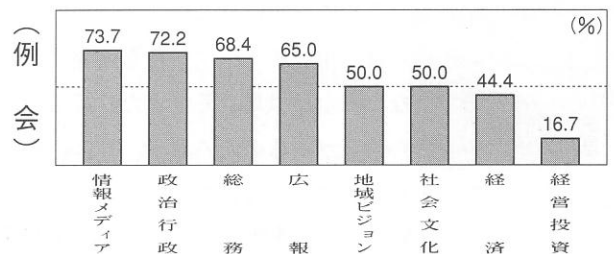
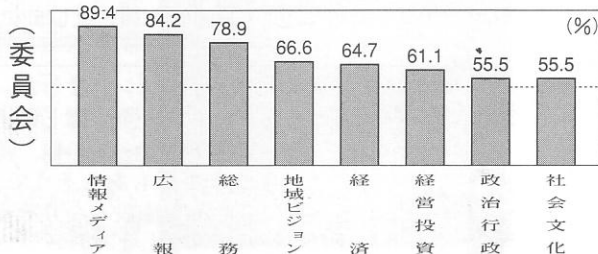
平成7年10月6日(金) 於：境港市京町187 五味の里
 出席者/16名
 内容/10月役員会報告にて、例会の出席率が悪いとのこと強く指摘された。
 11月ハンサム企画打合せ。

尚、今回は会場が境港ということで、食欲の秋でもあり、新鮮な魚を中央会の会員さんも提供の上、委員会一同いただきました。大変おいしかったです。

総務委員会

平成7年10月3日(火) 於：米子食品会館
 出席者/15名
 内容/①新規入会希望者審議
 ②第4回OB交流会開催について 10月7日 於 東亜青果 アトラクション/がいな太鼓披露 高島屋連・女性チーム
 ③委員会対抗ゴルフ大会(VS政治行政委員会)について 10月23日 於 米子ゴルフ場
 ④魅力ある例会とは
 例会の出席率低下についての原因の分析とその対策について
 ⑤会員有志によるスポーツ大会開催について
 米子地区会員・境港地区会員対抗野球大会開催 10月15日(日) 於：境港市菅電ヶ山球場

例会・委員会 出席状況



10月例会報告

10月17日(火) ホテルわこうに於いて10月例会が『情報メディア委員会』の担当により開催された。講師には、富士通(株)マルチメディア商談担当部長の佐藤健二氏を招き『マルチメディアの動向』という演題で、資料はパソコンの信号を液晶プロジェクタを通しスクリーンに映し出し動画等を使って行われ、内容は“アナログからデジタルの流れ”から始まり“広帯域通信・情報サービス”まで事例も含め豊富な内容で進められた。

マルチメディアの企業市場としては、営業・技術系業務はもちろんの事、お客様の問い合わせに正確な情報で迅速に対応し、お客様から得た情報をいかに生かしていくかという顧客サービス手段にパソコンネットワークが多くの中で利用されている事例を聞き、お客様へより一層近づこうとする企業努力を学ぶことができた。

個人(家庭)市場としては、教育・娯楽を中心に音声と画像を組合わせた新しい発想の商品を開発販売する『コンテンツビジネス』への富士通の取組と意欲を伺う事が出来た。

又、インターネットで世界の図書館の図書情報の検索や、

大学案内・企業案内検索、さらに、コンピュータでショッピングと夢の様な現実の話に聞き入る内容の濃い例会でした。

講演会を終えて、「難しい話でしたが、コンピュータの世界の進展の早さには驚きました。私の知らぬ間に……と云うのが実感です。」と受講した会員も最新の『マルチメディアの動向』に驚きを隠せない様子でした。



聞いてごしない Part 9

「無いものが待つ国へ」

中国に結婚という制度のない地方がある。1986年私は中国政府の紹介でその事実を知った。当時中国は輸出奨励政策の一環として海外向けのニュース素材を提供したのである。雲南省と四川省の間に瀘沽湖^{ルダフ}という湖がある。北京から成都を経由し1週間程の行程で辿り着く。そこには原始母系社会が残存し、結婚という制度がない。女性は一生の間に50人から150人の男と交るが、優性維持のため父親が分るというから不思議なものだ。男は成人すれば女とは別居し、女性が大家族を治めていく。彼女等の族長が北京に行くと、別世界には結婚という不自由な制度があると知って驚くのである。私は「嫉妬」という感情について尋ねたが、およそ理解がつかなかったようだ。そういえばバン格拉ディッシュにいた時も、「デートしたい」という言葉を通訳に聞いたが、理解できなかった。男女が任意に付合う週間がないので言葉がないのだ。考えてみると日本語にも「デート」に相当する言葉がない。日本にもそういう習慣がなかったからだろう。

昨今日本企業も海外に進出する。その多くが互いに異なる諸制度に苦悩し、本来異なる様々な習慣に共通の言葉を見出し、相反する利益の獲得に必死の努力を重ねている。我が山陰地方でも国際交流が叫ばれる中で、その中心をビジネスに求めるならば、単にチャーター便を増発すれば良いというものではない。企業は単なる憧憬だけでなく、血みどろの戦いを挑む決意があるのだろうか。今、山陰はようやく30年前の東京が始まったばかりといえるであろう。

(夜渡りカラス)

11月例会案内	日時	11月20日(月)
		受付 18:30~ 開始 19:20~
	場所	サンシャイン平安閣
	演題	「明日の鳥取県西部を語る」
	講師	鳥取県議会議員 松田一三氏 鳥取県議会議員 石黒 豊氏 鳥取県議会議員 湯原俊二氏

※出席の有無を11月16日までに返信ハガキにてご回示下さい。

11月役員会報告
11月定例役員会が11月1日(水)、米子食品会館に於いて開催された。当日の主な議題は、次の通り。

- (1) 11、12月例会開催の件
- (2) 県青中研修会の件
- (3) トライアスロン取組の件
- (4) その他

※尚、詳細については各委員長までご照会下さい。

編集後記

彦名に米子水鳥公園がオープンしました。毎年1300羽以上のコハクチョウをはじめ、223種もの水鳥が集まるそうです。観察ホールその他、展示ホール、映像を見せる視聴覚室などもあるそうで、渡り鳥がやってくる冬期に楽しみな施設となりそうです。また家族連れで行ってみましょう。